

大学番号：527

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

福山大学大学院 薬学研究科医療薬学専攻博士課程

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 福山大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部

職名・氏名 フクブチヨウ 副部長 マツ 松 岡 哲 衛

電話番号 084-936-2111（代）

（夜間） 084-936-2122

F A X 084-936-2213

e-mail soumu@fucc.fukuyama-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況, 経費	8
4	既設大学等の状況	9
5	教員組織の状況	12
6	留意事項に対する履行状況等	17
7	その他全般的事項	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 福山大学

(2) 大学名

福山大学

(3) 大学の位置

〒729-0292

広島県福山市東村町字三蔵985番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シ ミズ アツ ミ) 清水厚實 (平成23年6月)		
学長	(マツ ダ フミ コ) 松田文子 (平成22年6月)		
研究科長	(シブ ヤ ヒロ タカ) 澁谷博孝 (平成23年4月)	(フク ナガ マサ ヒト) 福長将仁 (平成25年4月)	任期満了に伴う変更(25)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の博士後期課程の場合(平成25年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程) 博士(薬学)	4年	3人	12人	基礎となる学部等 薬学部 薬学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	3 (-) [-]	人 (-) [-]	3 (-) [-]	人 (-) [-]	/		/		0.16倍	
志願者数	1 (-) [-]	- (-) [-]	0 (-) [-]	- (-) [-]						
受験者数	1 (-) [-]	- (-) [-]	0 (-) [-]	- (-) [-]						
合格者数	1 (-) [-]	- (-) [-]	0 (-) [-]	- (-) [-]						
B 入学者数	1 (-) [-]	- (-) [-]	0 (-) [-]	- (-) [-]						
入学定員超過率 B/A	0.33		0							

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考						
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期							
1年次	[-] 1	[-] -	[-] 0	[-] -	/		/								
2年次	/		[-] 1	[-] -											
3年次			/							/					
4年次												/		/	
計															

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	人	0人	平成22年度	人	人		#DIV/0! %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	1人	0人	平成24年度	0人	0人		0 %
			平成25年度	0人	0人		
平成25年度 入学者	0人	0人	平成25年度	0人	0人		#DIV/0! %
合 計	1人	0人					0 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<薬学研究科 医療薬学専攻（博士課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
分子薬学コース群	分子代謝制御学特論	1～3前		2		1						
	シグナル伝達特論	1～3後		2		1						
	分子腫瘍機構特論	1～3前		2		3						オムニバス
	細胞分子構造学特論	1～3後		2		2	1					オムニバス
	分子血液学特論	1～3前		2		1	1					オムニバス
	微生物と化学療法学特論	1～3後		2		2						オムニバス
	薬物分子認識学特論	1～3前		2		1						
	医薬分子化学特論	1～3後		2		3						オムニバス
	生理活性素材学特論	1～3前		2		3						オムニバス
	生体分子解析学特論	1～3後		2		1	1					オムニバス
バーチャルスクリーニング解析学特論	1～3前		2		1	1					オムニバス	
分子薬学論情報演習（外国語、ITを含む）	1～3後		2		3						オムニバス	
病態制御学コース群	薬物送達学特論	1～3前		2		1						
	医薬品製剤安定性特論	1～3後		2		1						
	薬効解析科学特論	1～3前		2		1						オムニバス
	神経薬理学特論	1～3後		2		4						
	臨床免疫病態学特論	1～3前		2		1						オムニバス
	薬物動態学特論	1～3前		2		2						オムニバス
	薬剤設計学特論	1～3後		2		4						最新の「ドラッグデリバリーシステム製剤」にかかわる講義内容充実の理由により、教員を追加（25）
	臨床薬剤学特論	1～3前		2		3						オムニバス
	薬剤情報解析特論	1～3後		2		2						オムニバス
	漢方薬理学特論	1～3前		2		1						オムニバス
放射線統合解析学特論	1～3前		2			1						
病態制御学論情報演習（外国語、ITを含む）	1～3後		2		3						オムニバス	
社会環境薬学コース群	活性天然薬物学特論	1～3前		2		2						オムニバス
	補完代替医療特論	1～3後		2		1						
	環境保健特論	1～3前		2		1						
	毒性・中毒学特論	1～3後		2		1						
	公衆衛生学特論	1～3前		2		1	1					オムニバス
	予防薬学特論	1～3後		2		1						
	薬剤疫学特論	1～3前		2		2						オムニバス
	生活習慣病特論	1～3後		2		1	2					オムニバス
	セルフメディケーション特論	1～3前		2		2						オムニバス
	在宅医療特論	1～3後		2		2						オムニバス
医療情報データベース特論	1～3前		2		2	1					オムニバス	
社会環境薬学論情報演習（外国語、ITを含む）	1～3後		2		3						オムニバス	
共通コース群	高度医療薬学研修Ⅰ	1～4通		2		6	1					退職にかかる欠員補充の理由により、教員を追加（25）
	高度医療薬学研修Ⅱ	1～4通		2		6	1					
博士研究論文演習	博士論文基礎演習Ⅰ	1前	1			23						
	博士論文基礎演習Ⅱ	1後	1			23						
	博士論文応用演習Ⅰ	2前	1			23						
	博士論文応用演習Ⅱ	2後	1			23						
	博士論文作成演習Ⅰ	3前	1			23						
	博士論文作成演習Ⅱ	3後	1			23						
	博士論文作成演習Ⅲ	4前	1			23						
	博士論文作成演習Ⅳ	4後	1			23						

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成24年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 8	科目 38	科目 0	科目 46	科目 8	科目 38	科目 0	科目 46	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{46} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)				
	校舎敷地	109,418 m ²	991 m ²	0 m ²	110,409 m ²					
	運動場用地	90,356 m ²	0 m ²	0 m ²	90,356 m ²					
	小 計	199,774 m ²	991 m ²	0 m ²	200,765 m ²					
	そ の 他	139,397 m ²	0 m ²	0 m ²	139,397 m ²					
	合 計	339,171 m ²	991 m ²	0 m ²	340,162 m ²					
(2) 校 舎	専 用	105,892 m ² 105,862 m ² 105,804 m ²	5,932 m ²	0 m ²	111,824 m ² 111,794 m ² 111,736 m ²	H22年度新規取得建物の 確認面積と保存登記 時の登記算入面積の差 (58m ² 増) 用途変更による校舎専 用面積導入(30m ² 増) (25)				
	(105,892 m ²) (105,862 m ²) (105,804 m ²)	(5,932 m ²)	(0 m ²)	(111,824 m ²) (111,794 m ²) (111,736 m ²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	37 室	演 習 室	100 室	実験実習室	328 室	情報処理学習施設	14 室 (補助職員 人)	語学学習施設	4 室 (補助職員 人)
	(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 薬学研究科 医療薬学専攻			室 数 32 室		(例) 平成25年4月 専任教授1名を新規 採用のため(25)			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	標本については 大学全体		
		冊	種	〔うち外国書〕						
	薬学研究科 医療薬学専攻	41,118 [18,193] 40,624 [18,172] 37,400 [14,228] (41,118 [18,193]) (40,624 [18,172]) (37,400 [14,228])	720 [365] 718 [365] 714 [364] (720 [365]) (718 [365]) (714 [364])	8 [6] 13 [8] 5 [5] (8 [6]) (13 [8]) (5 [5])	318 (317) (278)	3,391 (3,126) (3,299) (3,391)	157 (157)			
	計	41,118 [18,193] 40,624 [18,172] 37,400 [14,228] (41,118 [18,193]) (40,624 [18,172]) (37,400 [14,228])	720 [365] 718 [365] 714 [364] (720 [365]) (718 [365]) (714 [364])	8 [6] 13 [8] 5 [5] (8 [6]) (13 [8]) (5 [5])	318 (317) (278)	3,391 (3,126) (3,299) (3,391)	157 (157)			
(6) 図 書 館	面 積	3,891 m ²	閱 覧 座 席 数	653 席	収 納 可 能 冊 数	417,111 冊 423,904 冊	日本図書協会の計算式 が変更になったため (25)			
	(7) 体 育 館	面 積	3,342 m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
		教員1人当り 研究費等	教授	544 千円	550 -544 千円	図書購入費	千円	千円	千円	
			准教授	536 千円	550 536 千円		69,000	55,000	55,000	
			講師	536 千円	550 536 千円					
	助教	240 千円	350 240 千円	設備購入費	千円	千円	千円			
	共同研究費等	0千円	0千円		492,000	281,836 250,000	250,000			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,550+500 千円	1,350+300 千円	1,350+300 千円	1,350+300 千円	千円	千円			
		学生納付金以外の維持方法の概要		学生納付金のみ						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	福 山 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
経済学部									
経済学科	4	204	—	816	学 士 (経済学)	0.66	昭和50年度	広島県福山市 東村町字三蔵 985番地の1	平成22年度より 経済学部は学部 単位で募集 国際経済学科3年次編入 学（編入学定員30名）は 平成24年度より学生募集 停止 夜間主コースは平成24年 より学生募集停止
国際経済学科	4	60	—	240	学 士 (経済学)		平成8年度		
夜間主コース	4	—	—	—	学 士 (経済学)				
税務会計学科	4	50	—	200	学 士 (経済学)		平成18年度		
人間文化学部									
人間文化学科	4	50	—	200	学 士 (文学)	0.73	平成12年度	人間文化学科3年次編入 学（編入学定員25名）は 平成24年度より学生募集 停止	
心理学科	4	50	—	200	学 士 (心理学)	0.89	平成16年度		
メディア情報文化学科	4	50	—	200	学 士 (学術)	0.44	平成19年度		
工学部									
電子・ロボット工学科	4	50	—	200	学 士 (工学)	0.35	昭和50年度		
建築・建設学科	4	70	—	280	学 士 (工学)	0.56	平成19年度		
情報工学科	4	50	—	200	学 士 (工学)	0.76	昭和61年度		
機械システム工学科	4	70	—	280	学 士 (工学)	0.56	平成3年度		
生命工学部									
生物工学科	4	50	—	260	学 士 (生命工 学)	0.58	平成14年度	平成25年度より入学定員減 70人 → 50人(△20人)	
生命栄養科学科	4	70	—	280	学 士(生命 栄養学)	0.67	平成20年度		
海洋生物科学科	4	80	—	320	学 士 (生命工 学)	1.25	平成14年度		
薬学部									
薬学科	6	150	—	1,150	学 士 (薬学)	0.63	平成18年度	平成25年度より入学定員減 200人 → 150人(△50人)	

既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学員 定員	収容 定員	学位又は 称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院									
経済学研究科									
経済学専攻									
修士課程	2	8	—	16	修士 (経済学)	1.25	平成3年度	広島県福山市 東村町字三蔵 985番地の1	
人間科学研究科									
心理臨床学専攻									
修士課程	2	10	—	20	修士 (心理 臨床学)	0.70	平成19年度		
工学研究科									
電子・電気工学専攻									
修士課程	2	8	—	16	修士 (工学)	0.12	昭和54年度		
土木工学専攻									
修士課程	2	8	—	16	修士 (工学)	0.00	昭和54年度		
建築学専攻									
修士課程	2	8	—	16	修士 (工学)	0.49	平成6年度		
情報処理工学専攻									
修士課程	2	8	—	16	修士 (工学)	0.06	平成3年度		
機械工学専攻									
修士課程	2	8	—	16	修士 (工学)	0.12	平成7年度		
電子情報工学専攻									
博士課程	3	2	—	6	博士 (工学)	0.00	平成7年度		
地域空間工学専攻									
博士課程	3	3	—	9	博士 (工学)	0.11	平成8年度		
設計生産工学専攻									
博士課程	3	2	—	6	博士 (工学)	0.00	平成10年度		
生命工学専攻									
博士前期課程	2	24	—	48	修士 (生命科学)	0.20	平成2年度		
博士後期課程	3	4	—	12	博士 (生命科学)	0.16	平成7年度		
薬学研究科									
医療薬学専攻									
博士前期課程	2	—	—		修士 (薬学)		昭和62年度		平成24年度より 学生募集停止
博士後期課程	3	—	—		博士 (薬学)		平成7年度		平成24年度より 学生募集停止
博士課程	4	3	—	6	博士 (薬学)	0.16	平成24年度		平成24年度新設

大学の名称	福山平成大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
経営学部			3年次						
経営学科	4	50	—	200	学士 (経営学)	0.91	平成6年度	広島県福山市 御幸町大字上岩成 正戸117-1	
福祉健康学部									
福祉学科							平成16年度		
社会福祉コース	4	40	—	160	学士 (福祉学)	0.41	平成21年度		
介護福祉コース	4	20	—	80	学士 (福祉学)	0.50	平成21年度		
こども学科	4	50	—	200	学士 (こども学)	1.07	平成20年度		
健康スポーツ科学科	4	100	—	400	学士(健康ス ポーツ科 学)	1.05	平成16年度		
看護学部									
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.27	平成19年度		
大学院									
経営学研究科									
経営情報学専攻									
修士課程	2	5	—	10	修士 (経営 情報学)	0.50	平成12年度		
スポーツ健康科学研究科									
スポーツ健康科学専攻									
修士課程	2	5	—	10	修士 (スポーツ 健康学)	0.50	平成21年度		
看護学研究科									
看護学専攻									
修士課程	2	5	—	10	修士 (看護学)	1.20	平成21年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)について, それぞれの学校種ごとに, 平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際, AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「—」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<薬学研究科 医療薬学専攻（博士課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	日比野 俐 (67)	平成24年4月	医薬分子化学特論 生理活性素材学特論						
専任	教授	塩見 浩人 (67)	平成24年4月	神経薬理学特論						
専任	教授	西尾 廣昭 (65)	平成24年4月	分子血液学特論 神経薬理学特論 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	教授	大瀧 修 (64)	平成24年4月	高度医療薬学研修 I 高度医療薬学研修 II	専任	准教授	五郎丸 剛 (42)	平成25年4月	高度医療薬学研修 I 高度医療薬学研修 II	平成25年3月大瀧 修教授退職のため平成25年度より担当の変更(25)
専任	教授	廣瀬 順造 (64)	平成24年4月	バーチャルスクリーニング解析学特論 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	教授	澁谷 博孝 (64)	平成24年4月	活性天然薬物学特論 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	教授	金尾 義治 (63)	平成24年4月	薬物動態学特論 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	教授	吉富 博則 (63)	平成24年4月	臨床薬理学特論 高度医療薬学研修 I 高度医療薬学研修 II 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	教授	福長 将仁 (62)	平成24年4月	微生物と化学療法学特論 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	教授	鶴田 泰人 (62)	平成24年4月	生体分子解析学特論 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						

認可時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
専任	教授	宇野 勝次 (61)	平成24年4月	微生物と化学療法学特論 臨床免疫病態学特論 薬剤情報解析特論 病態制御学論情報演習 (外国語、ITを含む) 医療情報データベース特論 高度医療薬学研修 I 高度医療薬学研修 II 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	教授	藤岡 晴人 (60)	平成24年4月	生理活性素材学特論 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	教授	森田 哲生 (60)	平成24年4月	分子代謝制御学特論 シグナル伝達特論 分子腫瘍機構特論 分子薬学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	教授	富田 久夫 (60)	平成24年4月	薬物送達学特論 医薬品製剤安定性特論 病態制御学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	教授	岡村 信幸 (58)	平成24年4月	漢方薬理学特論 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	教授	石津 隆 (58)	平成24年4月	薬物分子認識学特論 医薬分子化学特論 分子薬学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						
専任	教授	江藤 精二 (57)	平成24年4月	分子腫瘍機構特論 臨床薬剤学特論 薬剤情報解析特論 医療情報データベース特論 高度医療薬学研修 I 高度医療薬学研修 II 博士論文基礎演習 I 博士論文基礎演習 II 博士論文応用演習 I 博士論文応用演習 II 博士論文作成演習 I 博士論文作成演習 II 博士論文作成演習 III 博士論文作成演習 IV						

認可時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
専任	教授	片山 博和 (56)	平成24年4月	薬剤設計学特論 セルフレディケーション特論 在宅医療特論 高度医療薬学研修Ⅰ 高度医療薬学研修Ⅱ 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	赤崎 健司 (55)	平成24年4月	細胞分子構造学特論 公衆衛生学特論 予防薬学特論 薬剤疫学特論 社会環境薬学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	杉原 成美 (55)	平成24年4月	環境保健特論 毒性・中毒学特論 生活習慣病特論 セルフレディケーション特論 社会環境薬学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	井上 敦子 (55)	平成24年4月	薬効解析科学特論 神経薬理学特論 病態制御学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	田中 哲郎 (53)	平成24年4月	薬物動態学特論 薬剤疫学特論 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ					薬剤設計学特論	最新のドッキングリバリシテム製剤にかかる講義内容充実の理由により、教員を追加(25)
専任	教授	大橋 一慶 (51)	平成24年4月	活性天然薬物学特論 補完代替医療特論 社会環境薬学論情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						
専任	教授	田村 豊 (48)	平成24年4月	分子腫瘍機構特論 神経薬理学特論 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ						

認可時の計画				変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	町支 臣成 (47)	平成24年4月					医薬分子化学特論 生理活性素材学特論 分子薬学情報演習 (外国語、ITを含む) 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ	
専任	教授	佐藤 英治 (44)	平成24年4月					臨床薬理学特論 在宅医療特論 高度医療薬学研修Ⅰ 高度医療薬学研修Ⅱ 博士論文基礎演習Ⅰ 博士論文基礎演習Ⅱ 博士論文応用演習Ⅰ 博士論文応用演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅰ 博士論文作成演習Ⅱ 博士論文作成演習Ⅲ 博士論文作成演習Ⅳ	
専任	准教授	小嶋 英二郎 (48)	平成24年4月					分子血液学特論	
専任	准教授	本屋敷 敏雄 (45)	平成24年4月					細胞分子構造学特論 放射線統合解析学特論	
専任	准教授	井上 裕文 (42)	平成24年4月					生体分子解析学特論 生活習慣病特論	
専任	准教授	秦 季之 (42)	平成24年4月					バーチャルスクリーニング解析学特論 医療情報データベース特論	
専任	准教授	道原 明宏 (41)	平成24年4月					公衆衛生学特論 細胞分子構造学特論	

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A0教員審査)を受けてください。**A0教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(A/C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
23	8	31	23	8	31	65	5
(23)	(8)	(31)	[0]	[0]	[0]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	大濱 修	退職
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成24年3月に退職した大濱 修 教授の担当授業科目「高度医療薬学研修Ⅰ」「高度医療薬学研修Ⅱ」の担当者変更については、在学生への年度初めのオリエンテーションで周知した。なお、平成25年度は履修者がいなかった。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (H 2 5 年 2 月)	<p>人間文化学部人間文化学科，メディア情報文化学科，工学部電子・ロボット工学科，建築・建設学科，情報工学科，機械システム工学科，生命工学部生物工学科，生命栄養科学科，薬学部薬学科，福山平成大学福祉健康学部福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから，学生の確保に努めるとともに，入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>人間文化学部人間文化学科の過去4年間の平均定員充足率は0.73倍で、単年度の入学定員充足率は、 平成22年度 0.82倍、 平成23年度 0.76倍、 平成24年度 0.58倍、 平成25年度 0.76倍、 である。 今後も引き続き、学生確保の努力をしていく。</p> <p>人間文化学部メディア情報文化学科の過去4年間の平均定員充足率は0.44倍で、単年度の入学定員充足率は、 平成22年度 0.66倍、 平成23年度 0.32倍、 平成24年度 0.42倍、 平成25年度 0.36倍、 である。 今後も引き続き、学生確保の努力をしていく。</p> <p>工学部電子・ロボット工学科の過去4年間の平均定員充足率は0.35倍で、単年度の入学定員充足率は、 平成22年度 0.36倍、 平成23年度 0.34倍、 平成24年度 0.44倍、 平成25年度 0.28倍、 である。 学部改革部会を設置し他学科と協働して入試広報活動の見直しを図ると共に学習施設、設備の整備を実行中である。 今後も引き続き、学生確保の努力をしていく。</p>	

工学部建築・建設学科の過去4年間の平均定員充足率は0.56倍で、単年度の入学定員充足率は、

平成22年度 0.61倍、
平成23年度 0.58倍、
平成24年度 0.61倍
平成25年度 0.45倍、

である。

平成25年度入学生から、改善が難しい土木コースを募集停止とし、平成26年度から建築学科に名称変更の届け出済みである。

今後も引き続き、学生確保の努力をしていく。

工学部情報工学科の過去4年間の平均定員充足率は0.76倍で、単年度の入学定員充足率は、

平成22年度 0.74倍、
平成23年度 0.76倍、
平成24年度 0.82倍
平成25年度 0.74倍、

である。

平成22年度に入学定員を実情に沿った適正規模とするよう60名から50名に減じた。

平成22年度以降の入学定員充足率は確実に7割を超えることができおり、今後も引き続き、学生確保の努力をしていく。

工学部機械システム工学科の過去4年間の平均定員充足率は0.56倍で、単年度の入学定員充足率は、

平成22年度 0.72倍、
平成23年度 0.37倍、
平成24年度 0.58倍
平成25年度 0.57倍、

である。

平成22年度に入学定員を実情に沿った適正規模とするよう80名から70名に減じた。

今後も引き続き、学生確保の努力をしていく。

生命工学部生物工学科の過去4年間の平均定員充足率は0.58倍で、単年度の入学定員充足率は、

平成22年度 0.47倍、
平成23年度 0.47倍、
平成24年度 0.57倍
平成25年度 0.84倍、

である。

平成22年度に入学定員を实情に沿った適正規模とするよう90名から70名に減じ、さらに平成25年度には入学定員を70名から50名に減じた。

今後も引き続き、学生確保の努力をしていく。

生命工学部生命栄養科学科の過去4年間の平均定員充足率は0.67倍で、単年度の入学定員充足率は、

平成22年度 0.48倍、
平成23年度 0.55倍、
平成24年度 0.78倍
平成25年度 0.90倍、
と着実に増加している。

また、3年次編入生は

平成22年度 5名、
平成23年度 2名、
平成24年度 4名、
平成25年度 2名

で、毎年数名確保している。

今後も引き続き、学生確保の努力をしていく。

薬学部薬学科の過去6年間の平均定員充足率は0.63倍で、単年度の入学定員充足率は、

平成20年度 0.74倍、
平成21年度 0.53倍、
平成22年度 0.44倍、
平成23年度 0.50倍、
平成24年度 0.50倍
平成25年度 1.09倍、

である。

平成25年度に入学定員を实情に沿った適正規模とするよう200名から150名に減じ、入学定員の150名を充足した。

今後も学生確保の努力をしていく。

		<p>福山平成大学福祉健康学部福祉学科の過去4年間の平均定員充足率は0.43倍で、単年度の入学定員充足率は</p> <p>平成22年度 0.25倍、 平成23年度 0.66倍、 平成24年度 0.41倍 平成25年度 0.43倍、 である。</p> <p>定員充足の方策として、少人数制教育の特徴を生かしたきめ細かい教育・指導を積極的に進め、本学科が養成する社会福祉士、精神保健福祉士及び介護福祉士の国家試験対策を充実させることにより合格率を上げ、学生の確保に努めてきたところである。</p> <p>今後も引き続き、学生確保の努力をしていく。</p>	
設置計画履行状況 調査時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調査時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学研究科 医療薬学専攻（博士課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な委員会である大学教育センター運営委員会（委員24人）の中に教育評価改善部門（5名）を設置し、FD活動、授業評価等の取り組みを行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 大学教育センター運営委員会・・・① 4/27（23人）、② 5/25（23人）、③ 6/22（22人）、④ 7/31（22人）、⑤ 9/28（19人）、⑥ 10/26（21人）、⑦ 11/30（18人）、⑧ 1/25（21人）、⑨ 2/18（22人）、⑩ 3/15（20人）

- ・ 教育評価改善部門・・・・・・・・・・大学教育センター運営委員会終了後、及び部門長と委員とのEメールでの会合を随時開催

c 委員会の審議事項等

- ・ 大学教育センター運営委員会

- ① ◇大学教育センター運営方針について
 - ◇大学教育センター部門委員構成
 - ◇外国語教育のあり方について
 - ◇基準協会への対応について
 - ◇教養講座について

- ② ◇教養講座について
 - ◇初年次教育について
 - ◇第2外国語について
 - ◇目標設定・カリキュラムマップの見直しについて
- ③ ◇国語および数学教育法PJの立ち上げについて
 - ◇チューター制度導入について
 - ◇平成25年度大学教育センター予算について
 - ◇講義のクォーター(quarter)制導入について
 - ◇FD講演会の企画について
- ④ ◇早期卒業について
 - ◇チューター制について
 - ◇クォーター制について
- ⑤ ◇特別研究生制度について
- ⑥ ◇カリキュラム変更について
 - ◇特別研究生制度について
- ⑦ ◇カリキュラム変更について
 - ◇災害・警報時の授業取り扱い、連絡法について
 - ◇H25年度学年暦について
 - ◇教職課程について
 - ◇共通教育の見直しへの取り組みについて
 - ◇平成25年度教養講座の講師について
 - ◇初年次教育(教養ゼミ)のあり方について
- ⑧ ◇カリキュラム変更(追加)について
 - ◇人数制限科目の履修登録について
- ⑨ ◇進級制度の見直しについて
- ⑩ ◇共通教育について

・教育評価改善部門(委員会開催日を特定せず、審議事項について記述)

- ◇H23年度授業評価アンケート実施報告書の作成について
- ◇H23年度アウトカム評価(卒業生によるアンケート調査)報告書作成について
- ◇H24年度前期授業評価アンケートの実施方法について
- ◇H24年度前期授業評価アンケートの実施結果について
- ◇H24年度後期授業評価アンケートの実施方法について
- ◇H24年度後期授業評価アンケートの集計結果について
- ◇H24年度アウトカム評価(卒業生によるアンケート調査)の実施について
- ◇H24年度に実施した各種アンケート調査の総合評価について
- ◇H24年度FD研修会開催計画について
- ◇H24年度FD講演会開催計画について
- ◇H24年度FD活動報告書作成について

② 実施状況

a 実施内容

- ・学部授業に関するアンケート調査(全学対象)
- ・学部学生の学習の取り組みに対する自己評価アンケート調査(全学対象)
- ・卒業生によるアンケート調査(全卒業生対象)
- ・FD講演会開催(全学対象) 12/12 16時30分より全学教員を対象に「高大接続と初年次教育」
講師：森 朋子氏(島根大学教育開発センター 副センター長)

- ・FD研修会（5回）の企画・開催
 - ◇「人体の構造と機能Ⅱ」（研修会A）
10/25（大学教育センター、薬学部の共催）
11/ 1（大学教育センター、薬学部の共催）
 - ◇「人体の構造と機能Ⅱ」（研修会B）
11/29（大学教育センター、薬学部の共催）
12/ 6（大学教育センター、薬学部の共催）
 - ◇「薬学入門」
10/ 1（大学教育センター、薬学部の共催）
 - ◇「『学生を理解する』という難問にSGDで挑む」PART I
12/22（大学教育センター、学生委員会、保健管理センターの共催）
 - ◇「『学生を理解する』という難問にSGDで挑む」PART II
2/15（大学教育センター、学生委員会、保健管理センターの共催）

- ・新任教職員オリエンテーションの実施 4/ 4（大学本部が実施）

・大学及び大学院の教育研究上の目的を明確にし、教育の質の向上を図るために、各学部及び各研究科の教育理念（下記3ポリシー）と学位取得までの指導計画を作成し、HP・学生便覧等で公表した。

- ①アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）
- ②ディプロマ・ポリシー（修了要件・学位授与の方針）
- ③カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）
- ④カリキュラムマップ（学部）、学位取得までの指導計画（大学院）

b 実施方法

- ・学生による授業評価アンケートは、全ての授業担当教員（非常勤を含む）一人当たり原則1科目の授業について実施。
- ・学習の取り組みに対する学生による自己評価アンケート調査は授業評価アンケートと同時に実施。
- ・卒業生によるアンケート調査は全卒業予定者を対象に2月～3月に学生支援システム「ゼルコバ」のアンケート機能を利用して実施。
- ・FD講演会開催（全学対象）・・・講師に森 朋子氏（島根大学教育開発センター 副センター長）を招聘し教員が参加しやすい
12月12日（水）5時限に開催した。
- ・FD研修会（5回）の企画・開催
 - 「人体の構造と機能Ⅱ」については授業参観が主であり、授業への影響を少なくするために研修参加者定員を24名に制限し研修会A及び研修会Bとして2回実施した。
 - 「薬学入門」については、授業参観が主であり、授業への影響を少なくするために研修参加者定員を24名に制限して実施した。
 - 「『学生を理解する』という難問にSGDで挑む」については、定員を30名として、2回実施した。
 - 少人数によるグループディスカッション（SGD）により、学生理解に求められる要因について理解を深めた。
- ・新任教職員オリエンテーションの実施（4/ 4）
 - 新任教職員（20名）に対し、教育システム、大学法人の組織運営、教務関係事項、学生関係事項、図書館関係等について、副学長（教育・研究担当）及び関係部局長から説明を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・学生による授業評価アンケート及び自己評価アンケート調査（回答率は75%）。
- ・卒業生によるアンケート調査（回収率45%）。
- ・FD講演会開催 12/12（参加者128名）
- ・FD研修会（5回）の企画・開催
 - ◇「人体の構造と機能Ⅱ」（研修会A）
10/25（参加者 7名）
11/ 1（参加者 7名）
 - ◇「人体の構造と機能Ⅱ」（研修会B）
11/29（参加者 11名）
12/ 6（参加者 11名）

◇「薬学入門」	10/ 1(参加者 15名)
◇「『学生を理解する』という難問にSGDで挑む」PART I	12/22(参加者 22名)
◇「『学生を理解する』という難問にSGDで挑む」PART II	2/15(参加者 20名)

・新任教職員オリエンテーションの実施 4/ 4(参加者、新任教職員 20名)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生による授業評価アンケート、学生の自己評価アンケートの集計結果を全教員に各学科長を介してフィードバックしている。各教員は、集計結果を基に改善を求められている事項を整理し、改善方の立案を含め報告書を提出し、回答を学生にフィードバックしている。

卒業生に対するアンケート調査結果は、集計結果を学部長、学科長にフィードバックし、学科毎に教育改善の貴重な資料として役立っている。

平成24年度の教員個人計画に対する自己評価、学科長、学部長による評価を行う。

さらに、各教員が自己点検を踏まえて、平成24年度の教員個人の年度計画を作成し改善を図る。

また、授業評価アンケート及びFD研修について全教員に上述の報告書の提出を求め、授業改善への方策の立案と実行を求めている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成24年前期の授業評価を平成24年6月11日～6月23日の期間に実施。

平成24年後期の授業評価を平成24年12月3日～12月15日の期間に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生による授業評価アンケートの集計結果は、授業科目担当教員に学科長を通してフィードバックしている。

また、受講学生に対しては担当教員が講義時間の一部を利用してフィードバックしている。

調査結果は大学HPに平成25年5月末掲載予定。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本研究科は、設置届出書基本計画書に記載したとおり、より高度な知識・技能および研究能力を有する薬剤師等を養成することを目的に平成23年6月に設置届出をおこない平成24年4月に開設となった。

平成24年度においては、入学者選抜、教育課程、教員組織、授業科目および施設設備について設置の趣旨、目的および設置時計画に変更なく実施している。入学生は定員3名のところ1名であったので、研究科ホームページでの情報提供の強化改善する他に学部生(5,6年次生)および保証人へ博士課程進学の意味等の理解を深める活動をおこない定員の確保を図る。

平成25年度においては、1年次に在学の1名が2年次に進級した。入学生は、病院や保険薬局への就職が多く、本学および他大学大学院への進学者は無かった。引き続きホームページでの情報提供や進学を勧め定員の確保を図る。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成21年度に実施した薬学部自己評価結果については、平成22年3月、公開済み。
- ・平成23年度に実施した学生による授業評価アンケート結果については、平成24年3月末、公開済み。
- ・平成23年度に実施した大学院生を対象とした大学院の教育・研究等に関するアンケート結果については、平成24年3月、公開済み。
- ・平成24年度に実施した大学院生を対象とした大学院の教育・研究等に関するアンケート結果については、平成25年2月、公開済み。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・本学は、平成18年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受け、平成19年4月1日に「適合」の評価を受けている。認定の期間は2014(平成26)年3月31日までであり、平成25年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受ける
- ・薬学部は、平成25年度に一般社団法人薬学教育評価機構の薬学教育(6年制)第三者評価を受ける。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成25年 6月 1日)